

## **御霊のとりなし**

ローマ人への手紙 8章 26-30節

### **はじめに**

今日は、ペンテコステ礼拝ですので、聖霊に関する聖書箇所から説教をしたいと思います。

26節に、「**同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます**」とあります。御霊、つまり聖霊は、私たちを助けてくださる方です。イエス様もこう言われました。「**わたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにして下さいます。この方は真理の御霊です。…この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです**」(ヨハネ 14:16-17)。イエス様は今、天におられます。イエス様は、イエス様を信じる私たちを助けるために、父なる神様にお願いして、聖霊を遣わして下さったのです。その聖霊は、いつでも私たちと共に、私たちの内にいて、私たちを助けてくださるのです。

では、聖霊は具体的にどのように私たちを助けてくださるのでしょうか。

### **1. 御霊のとりなし**

今日の聖書箇所では、聖霊は私たちのために「とりなし」をしてくださるとあります。「とりなし」とは、二人の間に入って仲裁することですが、聖霊は、神様と私たちの間に入って、私たちに代わって神様に願い、祈りをしてくさるのです。

26節には、聖霊は「**弱い私たちを助けてくださる**」とありますが、ここでの「弱い」という言葉は、「弱い」という言葉のほか、「**病気**」とも訳される言葉です。聖霊は、私たちが病気になって弱ったり、あらゆる試練や苦しみの中で弱っている時に、私たちのために祈ることを通して助けてくださるのです。

26節には、「**私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなして下さるのです**」とあります。私たちは、病気になったり、あらゆる試練や苦しみの中にある時、祈れなくなることがしばしばあります。そういう時こそ、祈らなければならないと分かっているけれど、祈りに力が入らない、祈る気になれないということがあります。また、祈り続けているけれど、なかなか状況がよくなるらない、改善されない、そういう中で「もうどう祈ったらよいか分からない」という気持ちになることもあります。そして、もう言葉にならない、「ただ助けてください」とうめくことしかできないこともあります。

そのように私たちが祈れない時、うめくことしかできない時にも、聖霊が私たちに代わって、私たちのために神様に祈ってくださるというのです。しかも聖霊自身も、「ことばにな

らないうめきをもって」祈ってくださるということです。それは、聖霊は私たちの苦しみや悲しみを共有しながら祈ってくださるということです。聖霊は決して、無味乾燥な祈りをされるのではありません。私たちと共いうめきながら祈ってくださるのです。

聖霊が「弱い私たちを助けてくださる」という時の「助ける」という言葉は、「共に」「代わって」「引き取る」という言葉が組み合わされた言葉が使われています。聖霊は、私たちの苦しみや悲しみをご自身のものとして「引き取り」、私たちと「共に」苦しみ、悲しみ、うめきながら、祈れない私たちの「代わり」に祈ってくださるのです。

27 節には、「**人間の心を探る方は、御霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころにしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださるからです**」とあります。父なる神様は、聖霊の思いが何であるかを確実に知っておられます。また聖霊は、父なる神様の御心に従って確実な祈りをされます。神様が聞いてくださる祈りとは、どんな祈りでしょうか。Ⅰヨハネ 5：14 には、「**何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるということ、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です**」とあります。神様は、ご自身の御心になう祈りを聞いて、その祈りに応えてくださるのです。私たちは、神様の御心を完全に知ることはできません。ですから時には、的外れな祈りをしていることでしょう。しかし聖霊の祈りは、的外れではなく、確実な祈りであり、必ず聞かれる祈りです。なぜなら聖霊は、神様の御心を知り、御心にかなった祈りをされるからです。聖霊は、私たちのために、神様の御心にかなった確実な祈りをしてくださるのです。そうして私たちを神様の御心へと導いてくださるのです。

私たちは病気になるたり、試練や苦しみの中にある時、祈れない時があります。祈ったとしても、うめくことしかできなかつたり、的外れな祈りであるかもしれません。また私たちは、そのような時に教会の皆さんに祈ってもらうこともあります。しかし苦しみや悲しみがあまりにも深く、祈ってくださいとも言えずに、一人でその試練を抱えていることもあるかもしれません。しかしそのような時でも、聖霊は確かに私たちのために祈ってくださるのです。自分でも祈れず、誰にも祈ってくださいと言えない時でも、聖霊は私たちと共いうめき、私たちのために神様の御心にかなった確実な祈りをしてくださり、私たちを神様の御心へと導いてくださるのです。聖霊は、そのようにして弱い私たちを助けてくださるのです。

## 2. すべてのことが益となる

では、聖霊が助けてくださる「私たち」とは、どのような存在なのでしょう。28 節にはこうあります。「**神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています**」。聖霊が助けてくださる「私たち」とは、「神を愛する人たち」であり、「神のご計画にしたがって召された人たち」です。私たちは、イエス様を信じてクリスチャンになり、聖霊の助けを受ける者となりましたが、それは神様の御計画によるものでした。私たちは、神様の御計画に従って、恵みによってイエス様を信じるようになったのです。

その私たちのためには、神様がすべてのことを「益」としてくださるということです。私たちの病気も、試練も苦しみもすべてです。私たちの失敗も、罪もすべてです。私たちが遠回りした時間も、立ち止まって何もできなかった時間もすべてです。神様は、私たちが行なうすべてのこと、私たちに起こるすべてのことを、すべて「益」としてくださるのです。その意味で、私たちが行なうすべてのこと、私たちに起こるすべてのことに無駄なことは一つもないのです。

では、「益」とは何でしょうか。29 節には、「**神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです**」とあります。神様のご計画は、私たちがイエス様と同じ姿にすることです。私たちがイエス様のようにすることです。神様は、このご計画に従って私たちを導いておられます。その意味で、私たちが行なうすべてのこと、私たちに起こるすべてのことが「益」となるというのは、私たちがイエス様と同じ姿になるために「益」となるということです。神様は、私たちが行なうすべてのこと、私たちに起こるすべてのことを、私たちがイエス様と同じ姿になるために用いられるのです。

しかしここには、「すべてのことがともに働いて益となる」とあります。「ともに働く」とありますから、神様だけが働くのではないのです。私たちが働くのです。では私たちは、何をしたらよいのでしょうか。私たちがすべきこと、それは「神を愛する」ことであり、イエス様と同じ姿を目指して成長していくことです。私たちが神様を愛して、イエス様を目指して成長しようとしていくなら、神様が私たちと「ともに働いて」、すべてのことを益とし、すべてのことを私たちがイエス様と同じ姿になるために用いられるのです。

### 3. **神のご計画**

30 節には、私たちに対する神様のご計画の全体が書かれています。「**神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました**」。私たちに対する神様のご計画は、永遠の昔から始まります。神様は、世界が造られる前から私たちを知り、私たちを救いへと選んでくださったのです。そして時至って私たちを召し、つまり私たちに罪を示し、悔い改めに導き、イエス様に対する信仰を与えてくださったのです。そしてイエス様を信じた私たちを義と認め、私たちのすべての罪を赦してくださったのです。そしてクリスチャンとなった私たちをイエス様と同じ姿へと成長させ、やがてイエス様が再び来られる世の終わりの時に、私たちに栄光を与えてくださるのです。つまり私たちを栄光の体へと復活させ、イエス様と同じ姿へと変えてくださるのです。

これが私たちに対する神様のご計画の全体です。神様が永遠の昔から私たちを選び、救いに至らせ、イエス様と同じ姿へと導くというものです。私たちの救いは、イエス様と同じ姿になるという目標に方向づけられているのです。そして私たちの救いは、神様の永遠の昔からの選びという恵みに支えられているのです。神様は、イエス様と同じ姿になるという目標に向かって、私たちを最後まで恵みによって導いてくださるのです。

## おわりに

私たちは、イエス様を信じてクリスチャンになっても、病気になったり、あらゆる試練の中で苦しんだり、悲しんだりします。そのような中で祈れなくなることもあります。そのような時にこそ祈らなければならないと分かっているのに、ただ「助けてください」とうめくことしかできない、もはやどう祈ったらよいのかもわからなくなる時もあります。しかしイエス様を信じる私たちといつも共にいて、私たちの内におられる聖霊が、いつでも私たちのために祈ってくださるのです。祈れない私たちの代わりに祈り、私たちと共にうめきながら祈ってくださるのです。そして神様の御心になつた確実な祈りをして、私たちを神様の御心へと導いてくださるのです。

神様の御心とは何でしょうか。それは、私たちがイエス様と同じ姿になることです。聖霊のとりなしの祈りによって、すべてのことが、私たちがイエス様と同じ姿になることへと用いられていくのです。病気も、あらゆる試練も苦しみも、私たちの失敗も罪も、立ち止まってしまった時間もすべてが、私たちがイエス様と同じ姿になることの「益」とされ、用いられていくのです。

なぜ私たちは、そのような特権に与ることができたのでしょうか。私たちが神様を愛しているからでしょうか。それとも私たちがイエス様の姿を目指して成長しているからでしょうか。そうではありません。それは、私たちがただ恵みによって神様に永遠の昔から選ばれたからです。神様は、恵みによって選ばれた私たちを、最後まで恵みによって支えてくださいます。私たちがイエス様と同じ姿になるまで、恵みによって導いてくださるのです。聖霊のとりなしの祈りによって、すべてのことが益とされて、私たちはイエス様と同じ姿に変えられていくのです。

私たちは弱い存在です。しかし弱い私たちであっても、最後まで聖霊の助けによって確実に導かれていくのです。

天におられる私たちの父なる神様。

私たちは、自分が思っている以上に弱い存在です。祈れなくなることも、前に進めなくなることもしばしばです。しかし私たちの弱さをよくご存じのイエス様が、助け主である聖霊を私たちに遣わしてくださったことを感謝します。聖霊は、私たちと共にうめき、私たちの苦しみや悲しみを担って、神様の御心にかたう祈りを通して、私たちを導いてくださいます。

私たちも、神様のご計画に従って、神様を愛し、イエス様の姿を目指して成長し、神様と共に働いていくことができますように。たとえ目に見える現実には希望の光が見えなくても、聖霊のとりなしと神様のご計画を信じて、すべてが益となることを信じさせてください。

この祈りを私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。